

財政構造改革の取組みについて

◆「平成30年度当初予算(案)」における 財政構造改革の推進状況

1. 「実質公債費比率」の改善
2. 「県債残高」と「公債費」の縮減
3. 「財政調整的基金残高」の充実

■平成30年度当初予算（案）における財政構造改革の推進状況

「財政構造改革基本方針」(H29-H31)を着実に推進！

1 「実質公債費比率」の改善

◆さらなる改善に取り組み、目標達成に向け着実に推進！

H27 18.9% → H28 16.7% → **H29 14.6%**

☆ 改革目標
「H31までに**13%程度**」に
向けて順調に改善！

2 「公債費」「県債残高」の縮減

(1) 「公債費」の縮減

※当初予算ベース

◆実質的な地方交付税である「臨時財政対策債」関連分を除いた公債費については、「**11年連続**」の減！

H28 552億円 → H29 537億円 → **H30 501億円**

※「臨時財政対策債」関連分を含めた公債費についても、「10年連続」の減！

H28 778億円 → H29 769億円 → **H30 740億円**

☆ 改革目標
「H31末までに**500億円**
未満」の達成目前！

(2) 「県債残高」の縮減

※H28末は決算ベース

◆「臨時財政対策債」を除いた県債残高は減少基調を堅持し、「**14年連続**」の減！

H28末 5,154億円 → H29末 5,100億円程度 → **H30末 5,050億円程度**

※「臨時財政対策債」を含めた県債残高についても、「8年連続」の減！

H28末 8,453億円 → H29末 8,420億円程度 → **H30末 8,370億円程度**

☆ 改革目標
「H31末までに**5,000億円**
未満」の達成を射程内に

3 「財政調整的基金残高」の充実

※「財政調整的基金」＝財政調整基金＋減債基金

◆安定的な財政運営の基盤として、また、市場公募債発行団体として市場における信頼性の確保・維持のため、「財政調整的基金」残高をしっかりと確保！

H28末 609億円 → H29末 710億円+α → **H30末 770億円+α** ※「+α」は、2月補正等での積み増し分

☆ 改革目標
「H31末までに**800億円**」を
目指し着実に確保！

「積極果敢な課題解決」と「新次元の施策展開」を支える「強靱でしなやかな財政基盤」を確立！

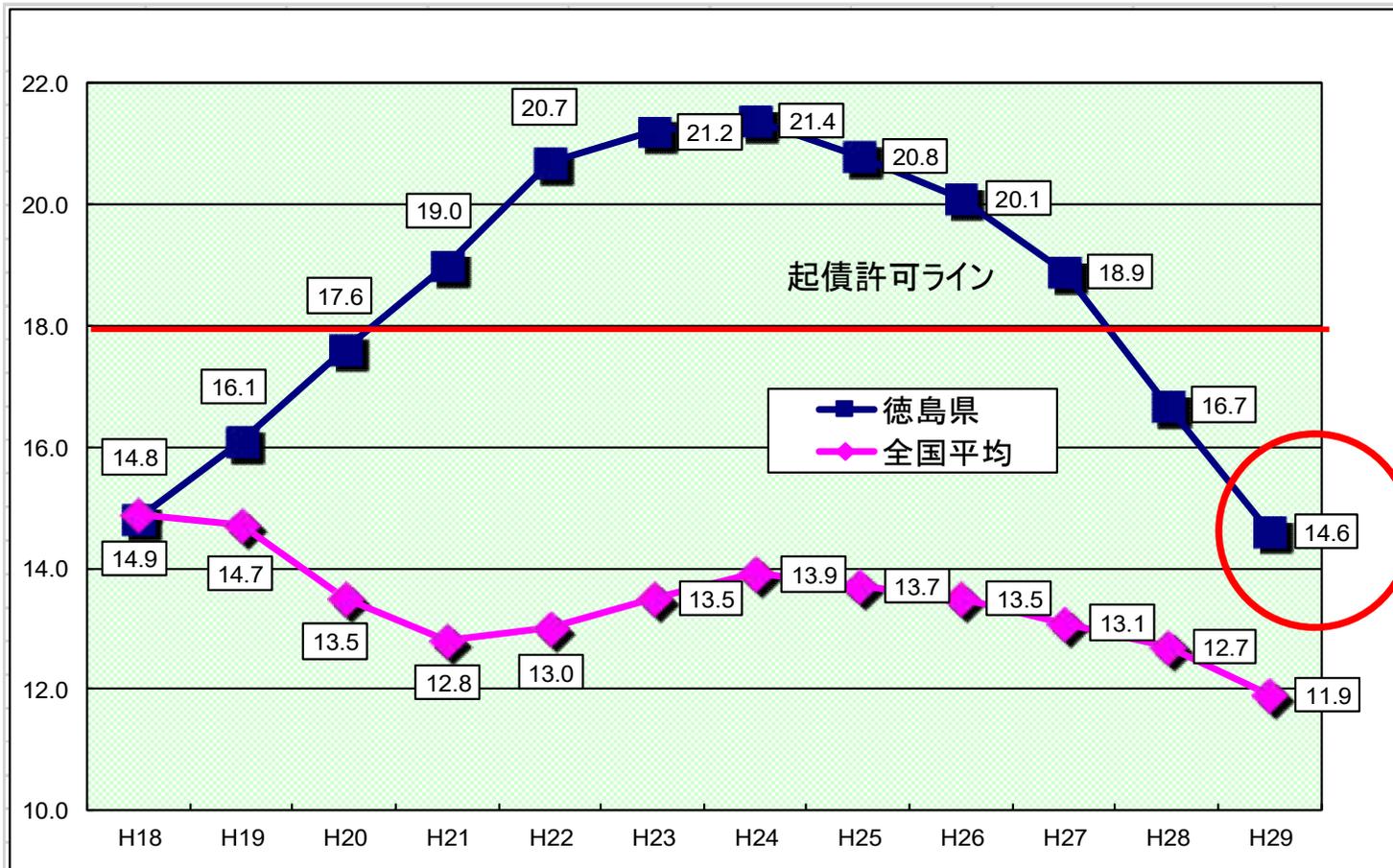
■実質公債費比率の推移

◆改革目標(H31までに「13%程度」)に向け着実に推進！

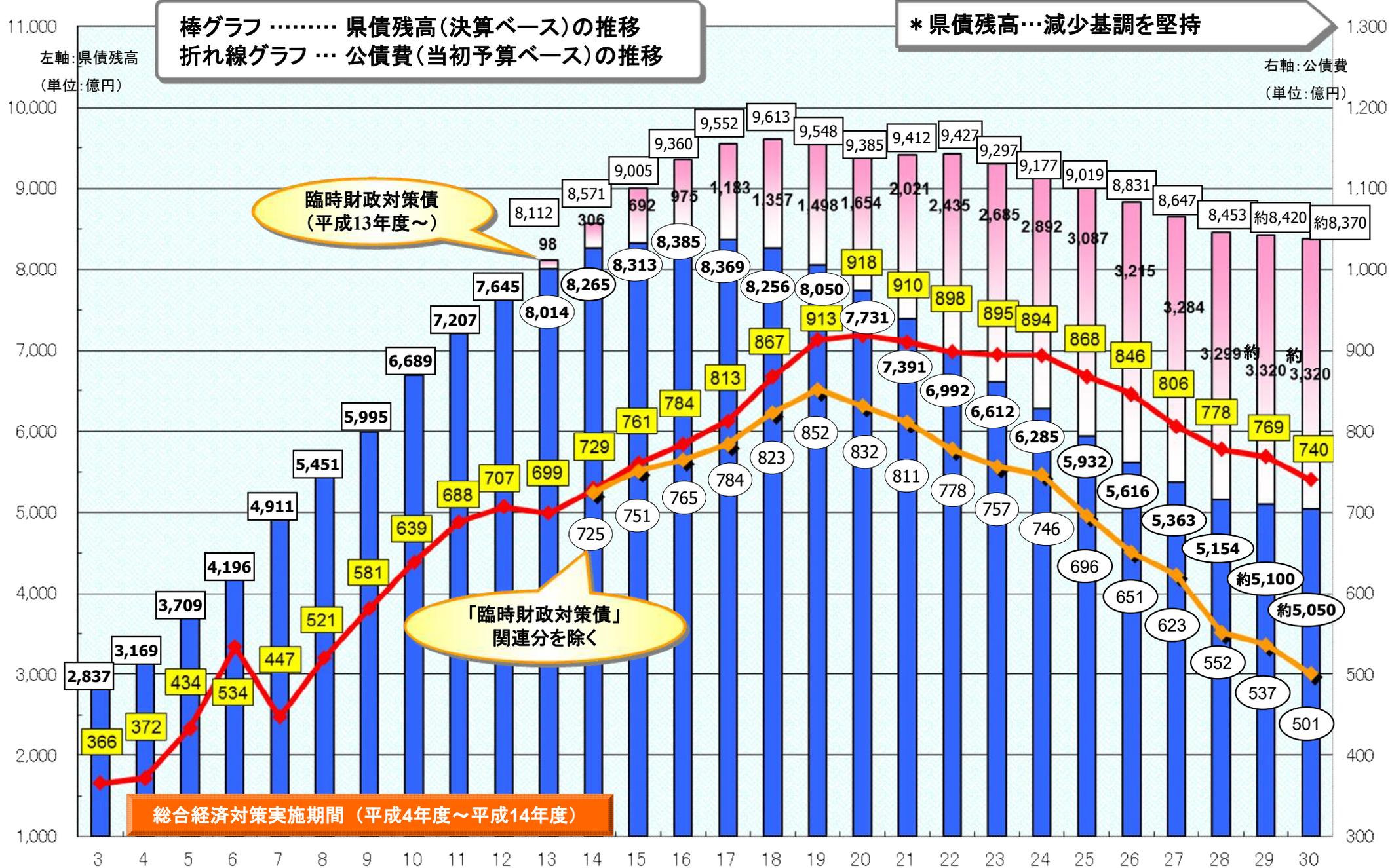
- ・平成21年度から27年度まで「7年連続」で起債許可団体
- ・平成28年度は「16.7%」となり、起債許可団体から脱却！
- ・平成29年度は「14.6%」となり、さらに改善！

※起債許可団体：18.0%以上

(%)



県債残高と公債費の推移

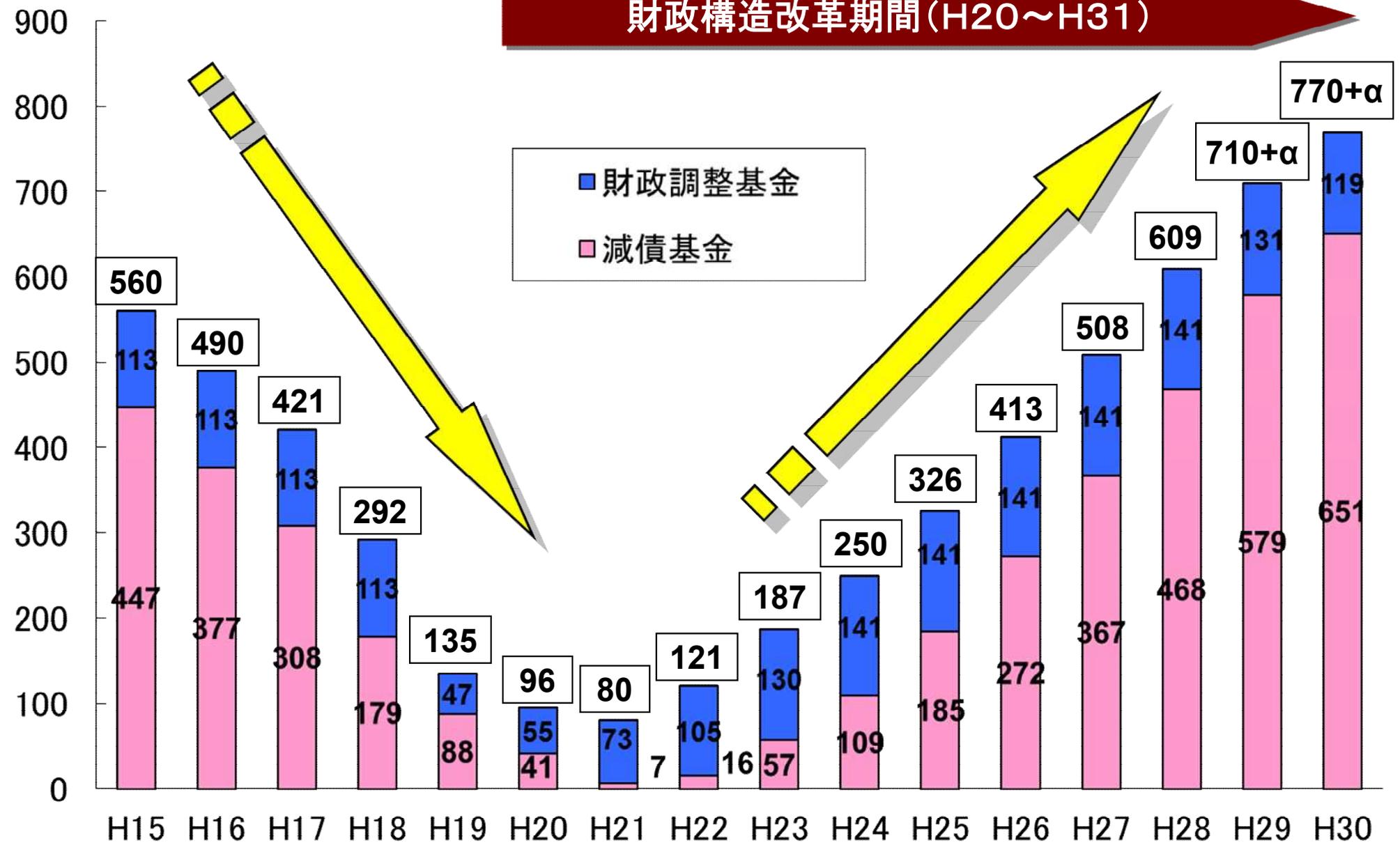


※公債費の平成6年度は、NTT債繰上償還金を除いた数値

(単位: 年度)

■ 財政調整的基金残高の推移

(億円)



* H29末及びH30末は執行段階節減努力等による積み戻しを含む